

篠井富屋連峰(562m)山行報告

【山行日】 2016年 12月 17日(土) 晴れ
【集 合】 栃木市運動公園P AM 6:30
【費 用】 マイカー2台 : 1,100円
【メンバー】 CL:鈴木ユ 伊藤、岩淵、大西、関、
福田夕、藤原、渡辺ト

【コースタイム】栃木市運動公園 P6:30=
こどもの森公園 P7:20/7:55~榛名山 8:55/9:05~
男山 9:30~本山 9:50/10:00~飯盛山 10:50/11:00~
高館山 11:55/12:35~黒戸山 13:05~駐車場所
13:20=こどもの森公園 P13:30/13:35=正嗣餃子
14:05=道の駅「にしかた」 14:45/15:05=
栃木市運動公園 P15:40



篠井富屋連峰を歩きたいというリクエストがあり、こどもの森公園から周遊コースで計画した。



ところが「舗装道路は歩きたくない」という要望があり、車を下山口に置いて楽チンコースに変更した。往路は時間短縮の為東北道を利用し、宇都宮ICで降りてこどもの森公園駐車場に向かった。こどもの森公園駐車場に着き、出発の準備が出来たら車を下山口の駐車場所に置きに行く。ところが、林道の入口を間違ひ、途中から戻って時間を15分ロスした。皆さんが待っているこどもの森公園に戻り、登山靴に履き替え出発する。駐車場から宇都宮市冒険活動センターへの園内道路を登って行き、途中の左側に榛名山への標識の所を

左に入っていく。ところが登山口にロープが張られ、「伐採作業の為立ち入り禁止」の札が掛かっていた。休日であり朝も早いので作業は行ってないと判断し、自己責任で登山道を進む。

案の定作業は行われておらず、何の障害も無く榛名山への鞍部に登り着く。鞍部から道標に従い右に進み、5分程登ると梵天がある榛名山山頂に着く。

山頂で記念写真を撮り、次の男山に向かう。

来た道を鞍部まで戻り、そのまま直進してわずかに登ると男山山頂に着く。山頂からは北側の展望が得られ、高原山の優美な姿が目をついた。

ここから本山へはほんの少し戻り、そのまま直進すると本日の最高峰「本山」に着く。

山頂には三等三角点が置かれ、360度の展望が得られて気持ちが良い山頂だ。リンゴや菓子などを食べながら休憩し、のんびりと眺望を楽しむ。心配した風も無く、穏やかな登山日和に恵まれラッキー！！

記念写真を撮ったら次の山、飯盛山へ向かう。

飯盛山へは分岐まで戻り、道標に従って飯盛山へ向かう。急降下し、小さなピークを3つほど越えて、薄暗いスギの植林帯を下ると平坦地に出て、道標に従って飯盛山へ向かう。鉄塔の脇から急斜面を20分程頑張ると、広い飯盛山山頂に着く。展望が良く、記念写真を撮ったらゆっくり休憩を取る。みかんやナッツとドライフルーツ等を食べ、エネルギーを補給する。ここからの下りが本日より一番の難所だ。急斜面に落ち葉が積



もり、とても滑りやすい。ロープを頼りにゆっくりと慎重に降りて行く。無事に下り切り、皆で顔を見合わせ安堵する。すぐに林道に出会い、左に進むとカーブに



標識があり右の登山道を進むとすぐに青嵐峠に着く。ここからは山腹を巻くように緩やかに登り、標識に従って左に登ると高館山山頂に着く。広く平坦な山頂には祠が祀られており、ここでランチタイムとする。本日の山ご飯は、キノコたっぷりの天ぷらうどん。春菊のおひたしや白菜のキムチ、Sさん手作りの切干大根の煮つけが並び、超豪華はランチを堪能する。Sさんが料理を出来る話で盛り上がり、帰りは正嗣の餃子を買いたいと話がまとまる。お腹いっぱい下山し、分岐まで戻り左に進むとすぐに黒戸山方面を示す標識がある。

標識に従い檜や杉の植林帯を進み、T字路の尾根を左に進むと黒戸山山頂に出る。山頂らしからぬピークで、山頂の標識が無ければ解らない山頂だ。最後の記念写真を撮り、すぐに下山する。スギ林を5分も下ると林道に出て、さらに5分程下ると舗装された林道に出る。舗装道を左折しほんの少し下ると、車をデポした駐車場所に着く。7座目の兜山は割愛し、ここから車でこどもの森公園Pまで戻る。こどもの森公園で2台に分乗し、鹿沼の正嗣に向かい餃子をお土産にゲットし帰路につく。予定より早く栃木市運動公園に着き、本日の夕飯は正嗣の餃子が食卓に並んだに違いない。我輩は明日の白根山山行があるので、今晚はお預け。明日の夕飯で思いっきり戴くことにする。

